

- 問1 ヨーロッパの航空機産業について、フランス南西部のトゥールーズに本社や最終組み立て工場を置く企業を中心とした生産体制の特徴として、最も適切な説明を選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 原材料の確保から部品製造、最終組み立てまでのすべての工程を、トゥールーズ周辺の地域のみで完結させている。 | 2. ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。 | 3. かつて北東部で産出された鉄鉱石を主な原料として利用するため、現在も内陸の鉱山地帯が航空機生産の全工程を担っている。 | 4. EU非加盟国からの安価な部品輸入を促進するため、フランス国内の工場はすべて沿岸部の港湾都市に集中している。 |
|---|--|--|--|
- 問2 2020年におけるポーランドの輸出相手国を示す統計において、隣接する特定の国が全体の約30パーセントという突出した割合を占めています。この最大の輸出相手国として正しいものはどれですか。（2026年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. ロシア | 2. イギリス | 3. ドイツ | 4. アメリカ合衆国 |
|--------|---------|--------|------------|
- 問3 日本がある4つの国から輸入している品目の内訳を確認したところ、国Aは力カオ豆が30%、国Bは電気機器が30%と一般機械が17%、国Cは電気機器が36%とバナナが7%、国Dは乗用車が24%と医薬品が18%でした。このうち、ドイツに該当する国を選びなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 国B | 2. 国D | 3. 国A | 4. 国C |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 イギリスの輸出統計において、日本などの他の先進工業国と比較して特徴的な品目として、北海から産出されるものが含まれます。この品目が分類される項目として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|---------------|------------------|--------------|
| 1. 鉄鋼などの重工業製品 | 2. 繊維などの軽工業製品 | 3. 先端技術に用いるレアメタル | 4. 原油などの地下資源 |
|---------------|---------------|------------------|--------------|
- 問5 ヨーロッパ諸国における主要な宗教の分布について述べた次の文のうち、各国の統計データにおける信仰傾向と合致する組み合わせとして正しいものを、あとのの中から選びなさい。なお、ノルウェーとドイツについては同じグループ、フランスとハンガリーについては別の共通するグループとして分類するものとします。（2020年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. ノルウェー・ドイツ：プロテスタント、フランス・ハンガリー：カトリック | 2. ノルウェー・ドイツ：正教会、フランス・ハンガリー：カトリック | 3. ノルウェー・ドイツ：プロテスタント、フランス・ハンガリー：正教会 | 4. ノルウェー・ドイツ：カトリック、フランス・ハンガリー：プロテスタント |
|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 ロシア連邦などに分布する「タイガ」と呼ばれる地帯の説明として、最も適切なものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 広葉樹と針葉樹が混ざり合っている | 2. 一年中凍りついている永久凍土の上にコケ類が生えている | 3. 寒さに強い針葉樹を中心とした森林が広がっている | 4. 乾燥に強い丈の短い草が生える草原が広がっている |
|---------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問7 ある国の経済指標を確認すると、一人当たりの国民総所得が約48,000ドルと高く、第1次産業従事者の割合は約2.0%と極めて低い数値を示していました。このデータが示す国として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. イギリス | 2. ブラジル | 3. タイ | 4. 中国 |
|---------|---------|-------|-------|
- 問8 EU（欧州連合）域内における「経済格差」がもたらしている状況や、それに関連する動きについて述べた記述として正しいものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 加盟国間の経済格差をなくすために、EU域内を移動する労働者に対しては、国をまたぐごとに高額な移動税を課している。 | 2. 国民総所得の低い国々の経済を底上げするため、EUは域外の特定の国に対してのみ、例外的に高い関税をかけることを禁止している。 | 3. 賃金水準の低い東ヨーロッパの国々から、より高い賃金を求めて西ヨーロッパの国々へ労働者が移動する現象が見られる。 | 4. 経済発展の遅れている東ヨーロッパの国々を保護するため、EU域内では国ごとに農産物や工業製品への関税が維持されている。 |
|---|--|--|---|
- 問9 1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|-------|------------|
| 1. 日本 | 2. ドイツ | 3. 中国 | 4. アメリカ合衆国 |
|-------|--------|-------|------------|
- 問10 ヨーロッパ連合（EU）は、面積が約447.2万平方キロメートルにおよび、GDPでも世界有数の規模を誇っています。このようにヨーロッパの多くの国々が統合し、一つのまとまった経済圏を築いている主な理由として最も適切なものはどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 石炭や鉄鋼などの資源を特定の国が独占し、域外への輸出を制限して利益を上げるため | 2. ヨーロッパ大陸を一つの国として統合し、各国が持つ主権や独自の言語を完全に廃止するため | 3. 加盟国がまとまることで市場規模を拡大し、アメリカや中国などの大国に対抗できる経済競争力を確保するため | 4. 域内の関税を高く設定することで、各国の伝統的な産業を個別に保護するため |
|--|---|---|--|
- 問11 明治時代の日本が医学を学ぶ手本として多くの留学生を送り出し、北里柴三郎などの医学者が研究を行ったヨーロッパ中部の国はどこか。この国は、19世紀にネアンデル谷でヒト属の化石が発見された地でもあり、1990年には東西の分断を乗り越えて再統一を果たしました。（2019年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. フランス | 2. アメリカ | 3. イギリス | 4. ドイツ |
|---------|---------|---------|--------|
- 問12 ヨーロッパ連合（EU）が共通通貨であるユーロを導入した主な目的として、経済的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. ヨーロッパ以外の地域との貿易を一切禁止し、域内だけで完結する自給自足の経済圏を作るため | 2. 両替の手間を省き、通貨の価値を安定させることで、域内の貿易や投資を活性化させるため | 3. 加盟国ごとに異なる通貨の価値を競わせることで、ヨーロッパ全体の軍事力を高めるため | 4. 国境を越えた人の移動を制限し、それぞれの国の伝統的な文化と国内産業を完全に分離するため |
|--|--|---|--|
- 問13 欧州連合（EU）加盟国間における労働力や企業の移動について述べた文章として、経済的な背景を踏まえた最も適切なものはどれですか。（2024年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 高い賃金を求める労働者が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ進出している。 | 2. 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。 | 3. 域内の経済的格差が完全に解消されたため、現在は賃金格差を理由とした労働者の移動や企業の進出は行われていない。 | 4. 経済混乱を防ぐため、EUの規定によって東ヨーロッパから西ヨーロッパへの労働者の移動は厳しく制限されている。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をツールーズに集約して最終製品を組み立てている。	フランスの航空機メーカーであるエアバス社を中心とした航空機産業は、巨大な開発費や高度な技術が必要となるため、ヨーロッパ各国が協力して分業体制を築いています。イギリス、ドイツ、スペインなどの各国で分担して製造された主翼や胴体などの大型部品は、最終的にフランス南西部のツールーズに運ばれ、そこで最終的な組み立てが行われます。これにより、一国では困難な大規模プロジェクトを国際協力によって実現しています。
問2	答え 3 ドイツ	ポーランドは2004年にEU（欧州連合）に加盟して以降、共通市場の利点を活かして域内諸国との経済的な結びつきを強めてきました。特に地理的に隣接し、欧州最大の経済規模を持つドイツは、ポーランドにとって工業製品などの最大の輸出先となっています。統計上でも、2位以下の国々が数パーセント台であるのに対し、ドイツが圧倒的なシェアを占めているのが特徴です。
問3	答え 2 国D	ドイツの輸出は、高い技術力を活かした工業製品に特化しているのが特徴です。選択肢の中で「乗用車」や「医薬品」が上位にある国Dがドイツに該当します。なお、国A（カカオ豆）はコートジボワール、国B（電気機器・一般機械）は中国、国C（電気機器・バナナ）はフィリピンの輸出構成の特徴をそれぞれ示しています。
問4	答え 4 原油などの地下資源	イギリスは北海油田を保有しているため、先進国の中でも原油などのエネルギー資源を輸出している点が大きな特徴です。日本のようにもっぱら工業製品を輸出し、資源の大部分を輸入に頼る貿易構造とは異なる側面を持っています。
問5	答え 1 ノルウェー・ドイツ：プロテスタント、フランス・ハンガリー：カトリック	ヨーロッパにおけるキリスト教の宗派分布は、歴史的な背景から地域ごとに大きな傾向が見られます。北欧に位置するノルウェーや、宗教改革の舞台となったドイツではプロテスタントの信者が比較的多く分布しています。一方で、西ヨーロッパのフランスや、中欧のハンガリーなどでは、伝統的にカトリックを信仰する人々が最も大きな割合を占めているのが特徴です。東ヨーロッパに多い正教会と混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 3 寒さに強い針葉樹を中心とした森林が広がっている	タイガは冬の寒さが厳しい環境に適応した、マツやモミなどの針葉樹林によって形成される。乾燥した草原は「ステップ」、コケ類が生えるのは「ツンドラ」、広葉樹と針葉樹が混在するのは「混合林」の特徴である。
問7	答え 1 イギリス	提示されたデータは、産業構造が高度化し、経済水準が高い先進工業国の特徴を示しています。特に第1次産業従事者の割合が極めて低い点は、かつて「世界の工場」と呼ばれ、現在は金融やサービス業を中心とした産業構造を持つこの国の特徴と合致します。一方、選択肢にあるブラジルやタイは農業などの第1次産業の割合がより高く、中国は経済規模（GNI総額）は大きいものの、人口が多いため一人当たりの数値はこれほど高くなりません。
問8	答え 3 賃金水準の低い東ヨーロッパの国々から、より高い賃金を求めて西ヨーロッパの国々へ労働者が移動する現象が見られる。	EU内では「人・もの・お金・サービス」の移動が自由化されています。このため、経済格差がある状況下では、所得の低い東ヨーロッパの国々から、ドイツやフランスといった所得の高い西ヨーロッパの国々へ多くの労働者が移動することになります。これは労働力の確保というメリットがある反面、移動先の国での雇用競争や社会保障負担の増加、あるいは移動元の国での人手不足といった新たな問題を引き起こす要因にもなっています。
問9	答え 2 ドイツ	ドイツは1990年代から環境政策を重視しており、再生可能エネルギーへの転換を積極的に進めてきました。その結果、主要国の中でも、経済規模を維持しながら二酸化炭素の総排出量と国民一人当たりの排出量のどちらも減少させることに成功した稀な例として知られています。
問10	答え 3 加盟国がまとまることで市場規模を拡大し、アメリカや中国などの大国に対抗できる経済競争力を確保するため	ヨーロッパの国々は一つひとつがアメリカや中国などの大国と比較すると経済規模が小さいため、統合することで巨大な単一市場を作り出し、国際社会での発言力や経済的な競争力を高めることを目的としています。また、かつて戦火を交えた国々が経済的に深く結びつくことで、地域内の平和を維持するという背景も重要です。
問11	答え 4 ドイツ	明治時代の日本はドイツの医学を高く評価しており、北里柴三郎や森鷗外などが留学して当時の先進的な医学を学びました。また、1856年にこの国のネアンデル谷でネアンデルタール人の化石が発見されたことは、人類学における重要な出来事です。歴史的には第二次世界大戦後に資本主義の西側と社会主義の東側に分断されましたが、1989年の「ベルリンの壁」崩壊を経て、1990年に再統一されました。
問12	答え 2 両替の手間を省き、通貨の価値を安定させることで、域内の貿易や投資を活性化させるため	共通通貨の導入前は、国ごとに通貨が異なっていたため、貿易のたびに両替の手数料が発生し、為替相場の変動による損失のリスクもありました。ユーロの導入によってこれらの経済的な壁が取り除かれ、一つの大きな市場として域内でのモノ、サービス、資本の移動がよりスムーズになりました。これは経済統合の重要なステップとなっています。
問13	答え 2 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。	欧州連合（EU）では域内の移動の自由が保障されていますが、加盟国間には依然として所得水準の差が存在します。そのため、より高い賃金を得ようとする労働者は所得水準の高い西ヨーロッパ諸国へ向かい、逆に生産コストを抑えたい企業は労働賃金の安い東ヨーロッパ諸国へと工場などを移転させる傾向があります。このように、自由な移動は経済的な因果関係に基づいています。